

知事定例記者会見(茶話会)

とき 59.1.31(火)

10:45~

ところ 3階13会議室

小樽屈河問題関係分 要旨

Q 小樽運河問題については？

知事 いろいろ報道されておりますが……

実はですね、(月)17日に 建設大臣からご連絡がありまして、小樽運河の問題について、自分の考えでは、小樽市民のコンセンサスがもたなければならぬのではないかと、それは埋立を進めるとか、止めるとか、いうこととは直接的にはわかりなく、コンセンサスが大事なように思うので、

努力を、知事の方で少ししてもらえないだろうかというご連絡をいただきまして、(月)20日に東京で、小樽市長と商工会議所会頭と話しをいたしました。

話は平行線でしたか、二人とも地元で話を継続しようということになりまして、現在、私の輪代議員が仲介の役をおとりにたいて、地元の新しいコンセンサスを得ることに大変ご努力されている——ということを知っておりまして、大きな力になるのではないかと期待をしております。

私は、市長には、いろいろ行政の立場で
今までご苦労されてきたわけで、そのご
苦労の立場はわかるけれども、また
状況も少しずつ動いているので、新しい
コンセンサスを得るためには、私としても、
市長だけに トロ をかぶせるというわけ
にはいかないから、私も一緒に、トロ
をかぶってでも 新しいコンセンサスをも
得ることができれば、そういう努力を
したいということを市長につたえて、この問
題 いろいろ 経過 もありますし、 話し
合いは苦しい立場で 話し合いをされて
おきて、その点は、皆様にも、ご理解
をいただき ご協力いただきたい、とい
うように思います。

Q 市長からは 何か？

知事 これ以上のごときは お許し
をいただきたいと思います。とてかく
お二人とも 今後 いろいろとご努力を
いただいて おるところでございます。

Q 泥をかぶるとは、変更もある？

知事 コメントー有いてません。

お話をしただけとありでございまして、建設大臣のお話は、先程、言ったように、堤防の土のせいでやめるとか埋めたてをさせる、ということではなくて、自分の外にいるところの、小樽の中は、いずれにしても、市のコンセンサスということか、いは大事な状況のように思う、ということ、コンセンサスをとるように、ということ、お話しでございまして、私の方も、お二人に同じ趣旨で、お話をし、その後、小樽で話し合いが行われ、特にその中で、地元出身の、あの韓化議員が、大変に苦労されているということ、ございまして、皆さんそれぞれいろんな経過の中で、市長さんは、大変に多いのではないかと、思っております。そのコンセンサスを得る努力を、しているところでございまして、……。

Q コンセンサスを得るまで、くい打ちをしない？

知事 とにかく、いま コンセンサスを得る努力をしているところでございます。

Q コンセンサスとは？

知事 そういうことには、いったいコメントしないということですよ。

私は、建設大臣から言われたとおり、皆さんに お話ししたわけですよ。

Q 知事の真意は判らないが、主体性はどこに？

知事 かなりいいとか悪いとかということではなく、今年は小樽博もありまして、私共、道政の立場から見ても、小樽は、行政、経済界、市民を含めて、やはり博覧会を成功させるためにも、一致協力してやるという体制が必要でありまして、一致協力してやるためには、小樽と河の問題というのは、さけて通れない問題であるという点に、十分たがってあります。

Q おじしみがいのことを言、たのでは？

知事 私は 皆さんが知っているような人間で
ありまして おじしみがいのことをいう
ようなところとは ほど遠いところに
いる人間ですが、話し合いが スター
に行くように その場をセッティング
今は、地元での話し合いに……
私も出てもらって どういうというより
あの輪代議員が 仲介の努めとして
ご努力いただいておりますというところでござ
います。

私の方には、二人^がともく 生合いの場
をつくりまして、話し合いが軌道に乗る
というところをしておいてございませ
う。まだ、いま地元でいろいろと
ご努力いただいておりますというところで

Q 議会で認められたことが、コンセンサス
といってまた... これを変更するものか？

知事 建設大臣のところに、保護、埋め込
て反対、いろいろな方が各々行か
れておいて、大臣がご整理になら
ない。大臣のご判断として、コンセ
ンサスがやはり必要ではないか？と
いうことで、私の方へご連絡があ
たわけですよ。

私の方は、12月の議会では、既定
方針通り進めますよ、と。しかし、
最近のいろいろな署名が沢山集ま
っているという、その事実を考えたのは
大変な思いでいるというご答弁
をいただきました。

そういう状況認識のところにご連絡
をいただいた。私の方でも先ほど
言ったように、小規模の観点でも



↓ 市あげてという気かとかくおれる
 ということは大変望ましいことだし、

その後

あの輪代議士のご努力もあって、小樽
 の中で話し合いがもたれているという
 ことは大変ご苦労あることとは思いますが
 けれども、なんとかうまく行くともし
 たいと考えております。

Q あの輪代議士は、保存米つづきでは...

知事 ・ともかく、市のコンセンサスという
 ことで、ご苦労されていると考えております。

Q 今後、ボールが返ってくるのを期待？

知事 話が今、色々と行われていて、ここで先行きのことは...

Q 署名愛の点検について...？

知事 ちよと、良く存じておりますん...

Q 泥をかかっているも...とは、どんな...？

知事 ともかく、話し合いをしていくという
 ことで、私も見ておりまして、市長さ
 んが来られるときは、庁舎会議所は
 副知事さん... →

↳ 会報さんから来られるとは、市の方は助役
 さんから来られるという感じでありました
 が、それでは 街の発展に すすい
 のではまいかと 私は 考えを ありま
 したので、二人 まで 3人、 ちゃんと
 二人で お話を という事で、私は
 三人で 話をしたわけでは、

その結果、地元で 継続して 話を
 やりましょう という事になった。この問題
 を どういう 場合で 話し合える するに
 しても、私の方を 皆さんだけ、二人に
 だけに まかせている 訳ではなくて、
 何か 新たな コンセンサスを得るため
 に 必要 ありました。 かつても、この
 しますヨ... という事を 申し立て
 する。

以上